

なめりかわえきしゅうへん

滑川駅周辺地区

(富山県滑川市)

- 計画期間 平成16年度～平成19年度
- 面積 87.4ha
- 交付対象事業費 2,123百万円
- 市人口 32,996人

ポイント 海洋深層水を活用した温浴施設（地域交流センター）を中心とした中心市街地の再生と、観光施設と連携した交流人口の拡大。

地区概要 交流の拠点として、だれもが気軽に利用できる海洋深層水の温浴施設を備えた市民交流プラザやバスベイ、アーケード、駐輪場等の駅前周辺環境を整備し、市街地の賑わいの再生を図る。

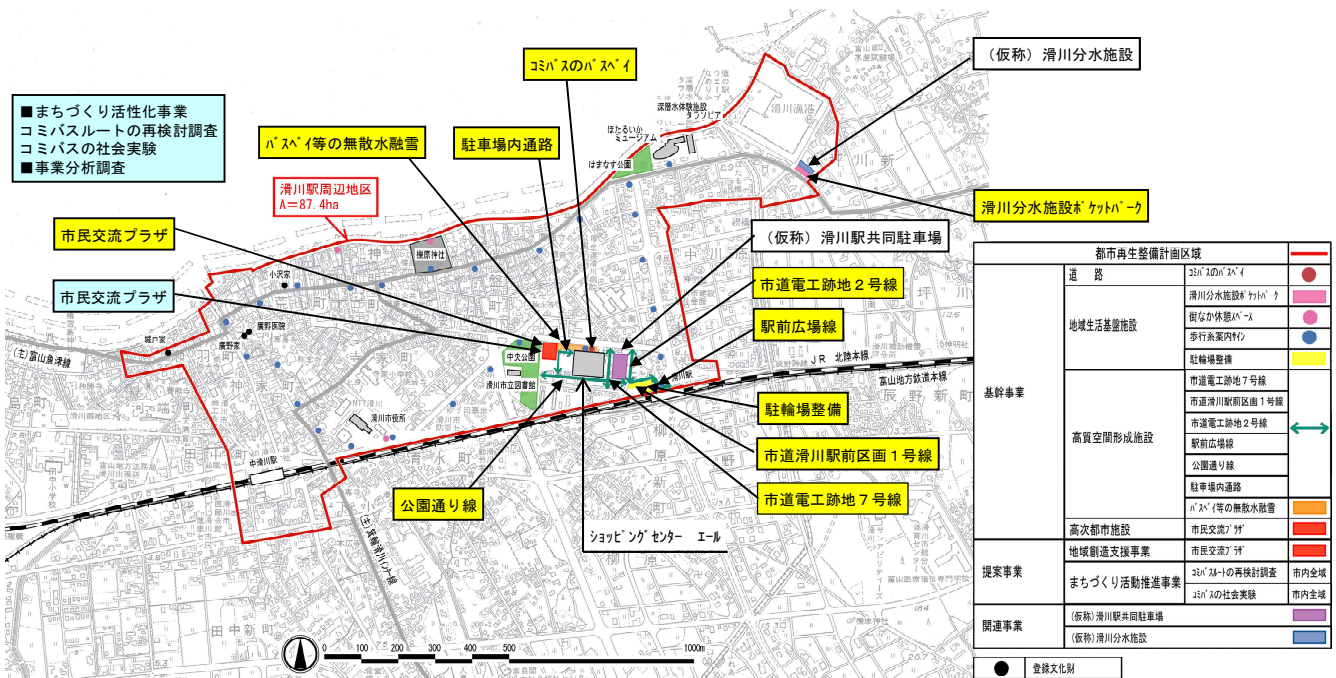
目標 市民や観光客が楽しみ、癒し、ふれあい、自己実現を図るコミュニティの場を提供する。連携されていない観光施設をネットワーク化することで、観光客を中心市街地に呼び込む。

指標 交通結節機能の強化、地域交流センターの整備や歩行系ネットワークの形成によるコミバスの乗客数、滑川駅乗降客数を指標とした。

コミバスの乗客数	17,174人(H15)	→	20,000人(H20)
既存観光施設の利用者数	109,674人(H15)	→	110,000人(H20)
駅の乗降客数	578,190人(H15)	→	580,000人(H20)

事業内容 基幹事業（1,364百万円）→ 道路（延長90m、幅員10m）、広場（4ヶ所 925㎡）、自転車駐車場（1ヶ所、405㎡、420台）、非常用発電施設（500KVA）、道路のグレードアップ（6ヶ所、延長712m、幅員4m～10m）、地域交流センター（1ヶ所、3,203㎡）

提案事業（759百万円）→ 地域交流センター（温浴施設等基幹以外、2,267㎡）、コミュニティバスの社会実験



地区の現況と課題

モーターゼーションの伸展に伴い、市街地の拡大と商業施設の郊外立地が進み、中心市街地の商業機能は衰退している。

また、ほたるいかミュージアムやタラソピアなどの観光・交流施設があり、古い街並みや芭蕉の句碑などが点在しているが、有機的な連携がなく中心市街地は素通りである。

提案事業の特徴

海洋深層水の活用

地域資源の海洋深層水を利用した、まちづくりの拠点施設として市民交流プラザを整備し、既存観光・交流施設のほたるいかミュージアム、深層水体験施設「タラソピア」、深層水分水施設「アクアポケット」とのネットワーク化を図り、中心市街地に賑わいを取り戻す。

コミュニティバスの利便性の向上

市民が気楽に中心市街地に訪れることができるようコミュニティバスのルートや時刻表を、コミバスの社会実験を踏まえて見直す。

計画策定プロセス

事業者との調整

滑川駅前商業地区においては、地域交流センターの市民交流プラザのオープンに併せて、全面的なリニューアルを計画しており、その整備計画の策定と都市再生整備計画との整合性を図っている。

TMOとの調整

継続的なTMOの組織である「滑川まちづくり工房」と定期的な検討会を通して、具体的な提案に基づいた意見調整を図っている。



▲滑川市民交流プラザ（地域交流センター）
H19年6月オープン



▲人通りのない商店



▲ほたるいかミュージアム



▲深層水分水施設「アクアポケット」



▲深層水体験施設「タラソピア」



▲バスベイと無散水融雪